

全柔連オフィシャルサプライヤー

MIZUNO

大塚製薬

そのすべては、アスリートのために。
ZAVAS
www.majf.or.jp/zavas

JAL 日本航空

財団法人 全日本柔道連盟
All Japan Judo Federation Official Website

サイトマップ リンク 問い合わせ



トップページ

トピックス

全柔連について

全柔連データベース

メニュー

主要大会

委員会活動

強化選手情報

疾病傷害予防・
アンチドーピング

全柔連スポンサー・
法人会員

サイト内検索

第2回 全国小学生学年別柔道大会

結果

寸評

総評

柔道ルネッサンス

計量について

みどころ

結果

< 小学5年40kg級 >

優勝	大島 優磨	(徳島・板野)
2位	香川 健吾	(広島・可部道場)
3位	竹内 文汰	(福井・三国町柔道教室)
	泉谷 僚児	(大阪・ミキハウス柔道教室)



大会結果などをPDF形式

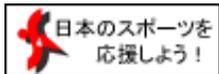
で表示しております。

Adobe社より無償で配布さ

れているAcrobat Reader

をダウンロードしてご覧

ください。



(優勝した選手 左から長野くん、高藤くん、吉良くん、大島くん)

[男子勝ち上がり表 \(PDF\)](#)

< 小学5年40kg超級 >

優勝	吉良 勝弥	(大分・臼杵市柔道連盟少年部)
2位	宮川 嘉軌	(福井・敦賀市柔道スポーツ少年団)
3位	中上 駿	(大阪・明武館田辺道場)
	山本 幸紀	(東京・吉田道場)

< 小学6年45kg級 >

優勝	高藤 直寿	(栃木・野木町柔道クラブ) 2連覇
2位	高市 賢悟	(愛媛・伊予柔道会)
3位	斉藤 昂矢	(新潟・黒崎柔道連盟)
	山尾 明	(福岡・行橋柔道教室)

< 小学6年45kg超級 >

優勝	長野 竜希	(高知・和田道場)
2位	蓮池 慎吾	(兵庫・社柔道少年団)
3位	富沢 裕一	(埼玉・新井道場)
	佐藤 和樹	(北海道・柳柔会高畑道場)

< 小学5年40kg級 >

優勝	松本千奈津	(大阪・OPJ柔道クラブ)
2位	向井 真琴	(長崎・深堀小学校)
3位	臼井 杏	(神奈川・柔道上溝南塾)



(優勝した選手 左から桜井さん、片桐さん、吉田さん、松本さん)

[女子勝ち上がり表 \(PDF\)](#)

田代 未来	(東京・高尾警察少年柔道部)
-------	----------------

< 小学5年40kg超級 >

優勝	吉田佳央理	(東京・青梅市柔道連盟)
----	-------	--------------

2位	橋本 朱未	(秋田・弘道館柔道スポーツ少年団)
----	-------	-------------------

3位	藤原 恵美	(兵庫・広畑柔道教室)
----	-------	-------------

	伊賀はる香	(京都・宮島柔道教室)
--	-------	-------------

< 小学6年45kg級 >

優勝	片桐 知美	(愛媛・宇摩柔道会)
----	-------	------------

2位	唐木 遥香	(神奈川・室田道場)
----	-------	------------

3位	堤 さつき	(東京・無限義塾)
----	-------	-----------

	志々目 愛	(鹿児島・柔心館道場)
--	-------	-------------

< 小学6年45kg超級 >

優勝	桜井 悠香	(兵庫・宝心館少年柔道クラブ)
----	-------	-----------------

2位	井坂 希望	(兵庫・社柔道少年団)
----	-------	-------------

3位	渡部 紫織	(岐阜)
----	-------	------

	村田夏南子	(愛媛・伊予柔道会)
--	-------	------------

全柔連オフィシャルサプライヤー

Mizuno

大塚製薬

そのすべては、アスリートのために。
ZAVAS
www.majj.co.jp/zavas

JAL 日本航空

財団法人全日本柔道連盟
All Japan Judo Federation Official Website

サイトマップ リンク 問い合わせ

トップページ

トピックス

全柔連について

全柔連データベース



メニュー

主要大会

委員会活動

強化選手情報

 疾病傷害予防・
アンチドーピング
全柔連スポンサー・
法人会員

サイト内検索



大会結果などをPDF形式

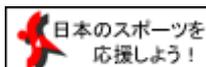
で表示しております。

Adobe社より無償で配布さ

れているAcrobat Reader

をダウンロードしてご覧

ください。



第2回 全国小学生学年別柔道大会-寸評-

結果

寸評

総評

柔道ルネッサンス

計量について

みどころ

『世界を目指す選手の輩出を期待！ 全国の少年少女が目標とする大会に！』



【男子小学5年生 40kg級】

軽量級ながら5月の全国少年2位の橋口祐葵（宮崎・芦塚柔道場）君が、決勝トーナメント1回戦において旗判定で敗れた。優勝した大島優磨（徳島・板野）君はこのクラスでも小柄ながら先に攻めて主導権をとる柔道だった。「大事な人との約束を守った、2連覇をねらう」とコメントしてくれた。



【男子小学5年生 40kg超級】

5月の全国少年で上位進出者が早々に姿を消したのは、小学生の成長の早さを感じさせた。吉良勝弥（大分・臼杵市柔道連盟少年部）君と宮川嘉軌（福井・敦賀市柔道スポーツ少年団）君の決勝は、互いに技を出すがポイントにはならず、旗判定で、吉良君が全国チャンピオンとなった。



【男子小学6年生 45kg級】

「判定！」の主審の声に、赤2本、白1本の2-1で、高藤直寿（栃木・野木町柔道クラブ）君は、接戦を征して2連覇を達成した。決勝の相手は昨年3位の高市賢悟（愛媛・伊予柔道会）君で準決勝の「技有」以外は全て「1本」で勝ち上り好調だった。決勝でもポイントにはならなかったが高藤君を抑え込む場面があっただけに悔しかったであろう。今後、互いにライバル意識をもち切磋琢磨して、将来の全日本代表を目指して欲しい。



【男子小学6年生 45kg超級】

優勝した長野竜希（高知・和田道場）君は、5月の全国少年と合わせて、2冠を達成した。昨年2位の佐藤和樹（北海道・柳柔会高畑道場）君を準決勝で破り、その勢いで決勝までオール「1本」勝ちと好調だった蓮池慎吾（兵庫・社柔道少年団）君に、2分間攻め勝ち旗判定で全国小学生大会の栄冠も手にした。



【女子小学5年生 40kg級】

「みんな強かった。一つ一つ頑張れて、良かった」と優勝した松本千奈津（大阪・OPJ柔道クラブ）さんの感想であった。本人の言葉どおり、決勝トーナメントに入って決勝までが全て旗判定の勝利と全国チャンピオンまでの道のりは険しかった。ホッと一息ついて、「2連覇を目標にします。谷本選手みたいになりたい」と笑顔で語った。



【女子小学5年生 40kg超級】

体格差を感じた決勝戦であったが、自分のペースで相手を動かして試合を進めた小柄の吉田佳央理（東京・青梅市柔道連盟）さんだった。秋田県代表で唯一決勝に進み、地元の声援を受けた橋本朱未（秋田・弘道館柔道スポーツ少年団）さんを、ガッチリ横四方固で抑え込んでの「1本」勝ちであった。「初めての全国大会を経験できて嬉しかった。優勝をねらっていたので、優勝できて嬉しい」とコメントした。



【女子小学6年生 45kg級】

片桐知美（愛媛・宇摩柔道会）さんのリベンジなる。決勝の相手は、昨年優勝の堤さつき（東京・無限義塾）さんを準決勝で敗った唐木遥香（神奈川・室田道場）さん。決勝までの5試合全てでポイントを取り、3勝は「一本」と抜群の力を発揮した。決勝でも「技有」ポイントをしっかりとって勝った。昨年の悔しさがバネになり初優勝を手にした。



【女子小学6年生 45kg超級】

2連覇は難しかった。決勝は2 - 1の旗判定となり、苦しみながらも決勝まで駒を進めた昨年のチャンピオン井坂希望（千葉・武秀館小坂柔道場）さんの夢は破れた。「嬉しかった、苦しかった、みんな強かった」と、優勝した桜井悠香（兵庫・宝心館少年柔道クラブ）さんは嬉し涙で話してくれた。しかし、準決勝までオール「一本」勝ち、準決勝では昨年3位、5月の全国少年で県代表となった村田夏南子（愛媛・伊予柔道会）さんを旗判定で破るなど、新チャンピオンにふさわしい戦績である。

文・写真 全日本柔道連盟 広報委員 三浦 登

全柔連オフィシャルサプライヤー

Mizuno

大塚製薬

そのすべては、アスリートのために。
ZAVAS
www.mojj.co.jp/zavas

JAL 日本航空

財団法人全日本柔道連盟
All Japan Judo Federation Official Website

サイトマップ リンク 問い合わせ

トップページ

トピックス

全柔連について

全柔連データベース



メニュー

主要大会

委員会活動

強化選手情報

 疾病傷害予防・
アンチドーピング
全柔連スポンサー・
法人会員

サイト内検索



大会結果などをPDF形式

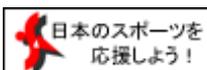
で表示しております。

Adobe社より無償で配布さ

れているAcrobat Reader

をダウンロードしてご覧

ください。



第2回 全国小学生学年別柔道大会-計量について-

結果

寸評

総評

柔道ルネッサンス

計量について

みどころ

『世界を目指す選手の輩出を期待！ 全国の少年少女が目標とする大会に！』



大会会場の秋田県立武道館

開会式の冒頭に、藤田弘明全柔連副会長は『この大会が、日本柔道の低年齢からのレベルアップにつながり、全国大会を目標に心と体を磨いて、将来の日本代表選手を出して欲しい。そして、世界選手権・オリンピックで優勝できる選手が多く出てきてくれることを望んでいる』と挨拶で話された。

その言葉どおり、第2回目となった小学生の全国大会の会場では、「子どもたちの一つの目標ができた。参加することで、子どもが成長する良い大会」と田野亜衣（徳島・石井）さんの母親が話してくれた。また、「このようなチャンスをつくってくれて感謝しています。鹿児島という地なので、練習相手が限られ沢山の場面



選手宣誓

が欲しい。県大会だけでなく、九州ブロックの大会などもあったら嬉しい」と、寺師里奈（鹿児島・串木野道場）さん、古川莉子（鹿児島・高山柔道）さんに帯同していたコーチが、この大会への期待を語ってくれた。

菜さん)



開会式のアトラクション 金足西小学校6年生「かなにしどじょふなダツグチーム」によるヤートセ演舞

國安教善大会委員長（全柔連総務委員長）は、『この大会を通じて、柔道の底辺拡大を意図とし、低年齢からの意識づけをしたい。将来のトップアスリートを目指すレベルアップは、心・技・体の全てであり、全国の小学生選手とその家族・指導者が集まるこの大会にこそ、礼法やマナー等を積極的に展開して、柔道ルネッサンスの石杖としたい』との考えを示している。

第2回目となり、確実に全柔連と参加者やその関係者との考えが一致してきていることを感じた。昨年は2日間の大会日程を1日で行う運営については、秋田県連が大変苦労したことと思う。その努力は確実に成果となった。

例えば、前日の午後の時間を有効に使って、中村行成（全柔連強化委員）、



鈴木若
葉（全
柔連広
報委
員）に
よる
『柔道
教室』
を新た
な取組
みとし
たところ、
「選手
のモチ
ベー
ション
が高
まっ
た」と
の声が
聞かれ
た。も
しろ
ん、選
手たち
の宿泊
経費の
軽減に
なった
ことは
言うま
でもな
いと思
う。



大会では、全国チャンピオンを目指して一人ひとりが全力を尽くす姿に2,500人以上入った観衆が大きな拍手を贈っていた。来年は、富山県での開催が決まっている。参加学年と階級は今年度同様か、又は財政との関係とニーズを慎重に検討して増やす方向での話し合いを継続したい考えであることを國安大会委員長から聞いた。

軌道にのった小学生大会が、更なる発展に向けて全柔連と運営関係者、そして選手とその家族・指導者が、来年に向けての新たなスタートが既に始まっているように感じた。

文・写真 全日本柔道連盟 広報委員 三浦 登

全柔連オフィシャルサプライヤー

Mizuno

大塚製薬

そのすべては、アスリートのために。
ZAVAS
www.majj.co.jp/zavas

JAL 日本航空

財団法人 全日本柔道連盟
All Japan Judo Federation Official Website

サイトマップ リンク 問い合わせ



トップページ

トピックス

全柔連について

全柔連データベース

メニュー

主要大会

委員会活動

強化選手情報

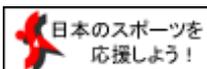
 疾病傷害予防・
アンチドーピング
全柔連スポンサー・
法人会員

サイト内検索



大会結果などをPDF形式
で表示しております。

Adobe社より無償で配布さ
れているAcrobat Reader
をダウンロードしてご覧
ください。



第2回 全国小学生学年別柔道大会-柔道ルネッサンス-

結果

寸評

総評

柔道ルネッサンス

計量について

みどころ

今大会では、地元の小学生が柔道ルネッサンスメッセージを行いました。柔道から学んだこと、これからの目標を原稿にしたため、しっかりした口調で読み上げました。

続いて、全日本柔道連盟ルネッサンス委員の向井幹博先生より、柔道から学ぶこと、柔道に関わる人の心と行動について、引退したアトランタ五輪金メダリストの中村兼三選手の話しをまじえておこないました。



- ぼくの ぼくたちの 柔道ルネッサンス -

秋田県 長谷川道場 小学6年生 菅原 陽平

ぼくは、柔道を始めて、1年になりますが、柔道をやって良かったと思います。それは、体と心がきたえられ、また色々なことを覚えたからです。

1つ目は、大きな声で「あいさつ」ができるようになったことです。2つ目は、「てきぱきと行動」ができるようになったことです。3つ目は、技を覚えたことです。

また、友だちも増えました。練習はきついけれど友だちと一緒に力をあわせて頑張っています。まだまだ覚えることがたくさんあります。色々な技を練習で使い、確実に身につけて試合でかけられるようにしたいと思います。

ぼくのお父さんは、高校の時にインターハイに出場しました。ぼくもインターハイに出られるように頑張りたいと思います。

柔道ルネッサンス運動という運動があります。その中でぼくたちにできることがあります。それは技を覚えて強くなるだけでなく、

- 元気よくあいさつすること -
- 困っている人がいたら自分から進んで助けてあげること -
- 友だちを大切にすること -
- ゴミをポイ捨てしないこと -
- 素晴らしい柔道を広めること -

です。

ぼくたちが今のこの瞬間からできることを実行していきましょう。

選手のみなさん、今日の試合では今までの練習の成果を発揮して、全力で頑張ってください。

全柔連オフィシャルサプライヤー

MIZUNO

大塚製薬

そのすべては、アスリートのために。
ZAVAS
www.majj.co.jp/zavas

JAL 日本航空

財団法人 全日本柔道連盟
All Japan Judo Federation Official Website

サイトマップ リンク 問い合わせ



トップページ

トピックス

全柔連について

全柔連データベース

メニュー

主要大会

委員会活動

強化選手情報

疾病傷害予防・
アンチドーピング

全柔連スポンサー・
法人会員

サイト内検索

第2回 全国小学生学年別柔道大会-計量について-

結果

寸評

総評

柔道ルネッサンス

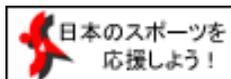
計量について

みどころ



大会結果などをPDF形式
で表示しております。

Adobe社より無償で配布さ
れているAcrobat Reader
をダウンロードしてご覧
ください。



計量とは？

体重別のこの大会では、正式計量がおこなわれる。しかし、「計量」の経験が少ない小学生の関係者に、『計量』の手順や方法、体重区分の意味が十分に周知されていない事実があった。

今大会で、『40kg 超級』の区分が理解されていず、失格になった選手がいた。『超級』とは、超えている体重区分である。

その選手は、体重が不足していたのです。

「少ない分には、問題はない」と思っている方も多いのではないのでしょうか？今回の場合も、ほんの少し足りなかったのです。しかし、満たないことで、失格となってしまいました。

また、予備計量と本計量のこと、理解されていない場合が多いようです。今回の例では、予備計量を受けていない（予備計量があることを知らなかった）。と聞いています。予備計量は強制ではありませんが、今回の場合であれば、予備計量を受けていれば、『グラム』少ないです。このままでは、計量は合格しません。と教えてくれるのです。

本計量は、1回です。やり直しはありません。体重計に乗った時点で、合否が決まってしまいます。このことも、理解不足の方々が多いかもかもしれません。

また、計量室には本人以外は入れない。ということもあります。

他には、40kg級の選手が40kgジャストだった時に、『大丈夫ですか?』との質問もあったそうです。超えていなければOKですので、まったく問題はありません。

計量で失格となると、せっかくの試合に出場できません。それは、大会関係者としても、計量で出られなくなった小学生を見て、とても辛い思いをするものです。この大会は、将来に向けての意識づけです。世界大会と同じルールに沿って大会は運営されています。

ぜひ、「計量」という機会が少ない小学生ですが、この大会で「計量」の方法や区分の見方など、たくさん勉強するものにしていただきたいと思います。

全柔連オフィシャルサプライヤー

Mizuno

大塚製薬

そのすべては、アスリートのために。
ZAVAS
www.majj.co.jp/zavas

JAL 日本航空

財団法人全日本柔道連盟
All Japan Judo Federation Official Website

サイトマップ リンク 問い合わせ

トップページ

トピックス

全柔連について

全柔連データベース



メニュー

主要大会

委員会活動

強化選手情報

 疾病傷害予防・
アンチドーピング
全柔連スポンサー・
法人会員

サイト内検索

第2回 全国小学生学年別柔道大会-みどころ-

結果

寸評

総評

柔道ルネッサンス

計量について

みどころ

『未来のオリンピック目指して！』

第2回目を迎えた、全国小学生学年別柔道大会が秋田県立武道館で行われます。昨年5年生の部（男女各2階級）で優勝した4人がそれぞれ出場するなど、小学生にとって注目の大会となるでしょう。

【5年生の部】

40kg級(軽量級)では、5月5日講道館で行われた「全国少年柔道大会」で、無差別個人戦で2位の橋口祐葵（宮崎 芦塚柔道場）君の戦いぶりに注目したい。同じく40kg超級(重量級)は、全国少年を征した角田君が出場していないが、3位になった竹下恭平（鹿児島 末吉柔道）君、ベスト8の萩健太（三重 さくら道場）君、渡辺大樹（熊本 森義塾）君たちは全国制覇への意気込みが強いだろう。女子の注目は、同じく5月の大会で県代表となった40kg超級(重量級)の今井由起（高知 和田道場）さんである。しかし女子の全国大会は今大会だけ、それだけに各選手は自分の力を試すチャンスがあり、子どもたちに将来の夢を抱かせることができるものとなるであろう。



大会結果などをPDF形式

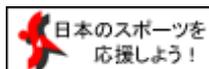
で表示しております。

Adobe社より無償で配布さ

れているAcrobat Reader

をダウンロードしてご覧

ください。



【6年生の部
(男子)】

45kg級(軽量級)は、昨年の軽量級チャンピオン高藤直寿(栃木 野木町柔道会)君を筆頭に、3位高市賢悟(愛媛 伊予柔道会)君の名前が目にとまった。昨年ベスト8に入った、永瀬貴規(長崎 長崎大付属小)君、黒木佑匡(愛知 岩倉柔道会)君、高橋将也(群馬 田島道場)君、仁田隆一(佐賀 基山少年柔道)君の4人が出場する。

他にも、軽量級で5月の全国に県代表となっている選手がいる。激戦が予想され、目が離せないであろう。

45kg超級(重



『今年も優勝をねらってがんばります!』

高藤 直寿(栃木 野木町柔道クラブ)



『挑戦!』目標は優勝です。

上田 轄麻(岐阜 聖心館平野道場)

量級)には、上田
轄麻(岐阜 聖
心館平野道場)
君が2連覇に向
かったの思いを
寄せてくれた。

『2連覇はそん
なに簡単にはで
きないと思う。
だから、僕は挑
戦します。勝つ
気持ちは、誰に
も負けません。
僕を支えてくれ
る道場の先生、
家族のみんな、
友達、みんなが
見守ってくれる
から、僕は、が
んばります。』

激戦と言って
良いだろう。昨
年2位の佐藤和
樹(北海道 高
畑道場)君、5
月の全国少年で
優勝した長野竜
希(高知 和田
道場)君に加
え、昨年3位
だった遠藤翼
(新潟 新潟中
央柔道少年団)
君、鎌田祐任
(香川 大内柔

道スポーツ少年
団)君がいて、
虎視眈々と優勝
をねらっている
であろう。

【6年生の部
(女子)】 4
5kg級(軽量級)
は、昨年のベス
ト8のうち6人
が出場してい
る。その筆頭
は、優勝の堤さ
つき(東京 無
限義塾)さん。

『昨年の優勝
は、初めての全
国大会でしたの
で、緊張の中、
何となく勝った
感じでした。で
も、今回は2度
目なので、連続
優勝を意識して
東京の代表とし
て絶対に勝ちた
いです。』とコ
メントをくれ
た。

その堤さんを
追って、昨年決
勝までオール一
本勝ちの片桐知



『連続優勝を意識して、戦います!』

堤 さつき(東京 無限義塾)



『思っきり技を出して2連覇を!』

井坂 希望(千葉 武秀館小坂柔道場)

美（愛媛 宇摩柔道会）さんがリベンジを。また、3位だった堀いくみ（愛知 孝心館）さん、ベスト8の穴井康那（山口 萩）さん、畑原ゆうき（大阪 ミキハウス）さん、三枝百音（山梨 誠武館）さんにも注目したい。 45 kg超級(重量級)での昨年からの連続出場選手を調べてみたところ、48人中27人であった。半分以上の選手が2度目の全国を体験するのである。

「2連覇を目指して猛暑の中、日々練習に励んでおります。怪我・病気など無く無事に秋田の地に立てることだけをただただ祈るばかりでございます

す」と昨年優勝の井坂希望（千葉 武秀館小坂柔道場）さんの母。本人の意気込みは『一試合、一試合練習の成果が出せるように、思いっきり技を出して2連覇を目指したいです!』と伝えてきた。

連続出場選手が50%を超えているが、昨年の上位進出者は、3名である。全国出場の難しさを感じる。その中でも、昨年3位で5月の全国少年大会で男子を退けて県代表にもなった、村田夏南子（愛媛 伊予柔道会）さんを注目していきたい。もう一人が、ベスト8に入った片岡志乃（徳島 藍住真導）さんである。

小学生の成長は目を見張るものがある。1年間で恐ろしいほどの成長をとげるものである。昨年の結果がそのまま今年の戦いにつながるとは思っていない。どんな逸材が、どんな素晴らしい技を各選手が披露してくれるか、とても楽しみである。

昨年6年生で優勝した選手は、口を揃えて『将来はオリンピック選手になりたい』と言っている。今大会が子どもたちに夢を与え、自分を鍛える意欲を掻き立てているものと感じている。小学生の戦いではあるが、スピード感のある技の攻防は大人の試合にひけをとらないといえる。全選手が力の限り戦ってほしい。

全日本柔道連盟 広報委員 三浦 登